



古閑 修一議員

行財政について

問 事務改善委員会におけるこれまでの主な改善点と、今後の取り組みについての考えを伺う。

答 (副町長) 各種委託業務の内容精査による経費の削減。

問 今回の教育課、三加和総合支所における機構改革のねらいと、今後の改革についての考えを伺う。改革によって住民サービスに支障があってはならないと考える。

答 (町長) 効率的な事務執行を目的に、行財政改革推進委員会の答申を受け行った。今後も、職員削減に伴う事務事業の見直しを進め、今年度中に第二次集中改革プランを策定し、整理、統合、廃止など改善に取り組む。

問 固定資産税の滞納状況及び、その対応について伺う。

答 (税務住民課長) 21年度

の状況は、131人、金額で1、755万円、滞納処分の方法として預貯金、給与、動産の差押えをしている。ゴルフ場の件については、

本年2月11日にA業者とB業者での任意売買の不動産売買契約が成立。その後、計6、411万6、300円が振り込まれている。残りの未納分については現在担当弁護士への協議を進め収納に努める。

農業問題について

問 口蹄疫の対応について伺う。

答 (経済課長) 町長の指示により、現在対策マニュアルを策定しているところである。

問 中山間地域総合整備事業の今後の見通しについて伺う。

答 (町長) 今年度採択については7月、要望通り採択を願う。そういう思いで期待をしている。

答 (経済課長) 和水西部地区5カ所の地形図作成、実

施設計(大平・矢部谷地区、大田黒地区、同地区の換地関係で合計3、400万円の事業規模である。

問 耕作放棄地対策事業の実績と今後の進め方についての考えを伺う。又、イエロープロジェクト事業、第3期中山間地域直接支払い制度におけるサポート制度の創設への対応について伺う。

答 (経済課長) 平成20年、21年合わせて232アール、

22年度124アール計画している。イエロープロジェクト事業については、「上板楠の菜の花かかし祭り」を申請している。サポート制度については、今希望をとっている。

教育問題について

問 スクールバスを利用した交流学习の現状及び、今後の考え方について伺う。又、PTA等の交流も考えてみてはどうか伺う。

答 (教育長) 集団の中で育てる意味で、現在南小と中央小が週2回、東小と西小が週1回行っている。放課後を利

用して合同部活の実施もしている。PTAの方も何回かやっているが今後更に広めていきたい。

問 統廃合について、今後の計画及び考え方を伺う。

答 (教育長) 今後、町小中学校統廃合推進委員会設置要綱に基づき進めていく。

問 本年度3月議会で統合に関わる予算を減額されたのに、今回、増額しての予算計上、

又、建設地も決定していないのに土地購入費の5、300万円の予算計上は納得出来ないのか伺う。

答 (町長) 一定の場所に固守しない、という事を理解頂く為に予算を減額した。何点か場所を示しているの、どの場所になってもそれに添った、それを考えた上での予算計上である。



スクールバスでの交流学习



杉本 和彰 議員

政治姿勢について

問 ①教育理念について、一番力を込めたい事を伺う。又、立場からこの理念をどのように活用していくのか、さらにはどのような手法で教育現場のみならず町民に浸透させるのかを尋ねる。②文化・芸術・音楽・スポーツ等に対する現状分析とトップリーダーとしての思い入れ、方向性は異なるものか伺う。

答 (教育長) 幼保小中高の発達段階に応じた連携の中で育てる小中統廃合に係る問題も取り組む。学校家庭地域と町が一緒になって生涯学習、生涯スポーツの振興に努める。

学校教育について

問 ①小学校は平成23年度、中学校は平成24年度から新学習指導要領が全面的に実施されるが、今後どのように対

応されるのか。②「教育免許更新制度」とはどのようなものか伺う。③子ども達の問題行動について現状また対応を伺う。町長部局との連携はどのようにされるのか。

答 (教育長) ①学校現場において改定された新しい指導内容を完全実施できるよう、各教科書の指導書や参考図書、教科書の整備等に取り組んでいる。②教員としての必要な資質、能力が保持されるよう、定期的に最新の知識、技能を身につけさせることで、一人ひとりの教員が自信と誇りを持って教壇に立ち社会や児童、生徒保護者等から尊敬と信頼を得る事を目的とする。③町内小中学校において問題行動をおこした事象はない。

問 推進に当たり児童生徒への指導は順調なのか。保護者からの意見はないのか。

答 (教育長) PTAと充分連絡を取っていたが、総会等で話を行っている。子どもも保護者も不安を持つ

ておられる。進学率が低いのは事実であり、玉名高校にて中学校、高校が並立される。実際本町はどれだけ進むかわからない。学力テストでは全国平均を上回っている。

少子化対策について

問 ①今後、取り組んでいく少子化対策にはどのようなものがあるのかを尋ねる。

②出生率の低下の原因は何と考えておられるか尋ねる。結婚から子育てまでの総合的支援策・合併後の人口の社会増減を各年ごとに伺う。

答 (町長) ①定住対策に取り組む民間の賃貸住宅建設の促進を図り、現状に応じた分譲住宅等を検討し、住環境の整備の検討を推進する。複式学級の解消を図る。②未婚化晩婚化が進んでいる。

問 少子化対策に対する沢山のメニューがあるのは事実だが、企業誘致や地元産業の育成等若者の働く場の創出と定着、そして例えば江田交差点の改修それから合併支援道路等幹線道路の整備等も少子化対策

の大きな部分と考えるが。

答 (町長) 今後学校統廃合が進んでいくのか、複式がそのまま続くのかこれが一番の関心ごとだ。

問 若い人たちは進学や就職を契機に町を離れていく。わ

が町で結婚する人の減少・出生率の低下に繋がっているが。

答 (町長) やはり小中学校統廃合問題だ。跡地にて雇用をしていろんなものを推進する。

問 予算書の改善について地方自治法施行規則において定められているが、説明欄の表示方法等分かりやすい行政にする為、さらに改善を望むがどのようにお考えか。

答 (総務課長) 歳出に関しては予算計上した目の内訳、その参考となる事項を記載することが出来る。

問 もう少し改善を望むが。

答 (総務課長) 検討させていたが、担当と打ち合わせ後、出来る限り分かりやすいようにしたい。

問 国民健康保険行政について保険税の滞納者に対する措置として資格証明書があるが

現状と課題を尋ねる。被保険者間の負担の公平を図ることや個々の生活状態の把握に努めるとともに福祉、保健、教育委員会等と連携することの必要性を感じるが現状の対応を伺う。

答 (税務住民課長) 滞納対策事業実施要綱の規定に基づいて、生活困窮等の特別な事由があるのかないのか、又、悪質でないのか適切に把握しながら、納税相談による滞納者との接触に努めたうえで資格証明書を交付していきたい。15歳以下に対して、これまで6カ月の短期保険証の交付を高校生以下まで拡大する。



子ども広場活動